

学校だより 令和4年度 11月号

NO.7



のびる ほどっ子!

令和4年10月31日
横浜市立保土ヶ谷小学校
学校長 小川 克之



ほっとな未来へ 3C!

「環境は 天稟を はぐくむ」

副校長 日野 る美

本校の裏に記念碑があります。移転する前の月見台校舎のときには、学校の玄関の前にあったそうです。記念碑には、「環境は 天稟を はぐくむ」と刻まれています。本校の創立88周年（昭和36年）を記念して、当時の半井（なからい）清横浜市長が書いてくださったものだそうです。

環境

ここで意味する環境とは、子どもたちを取り巻くすべてのこと。学校、家庭、地域、社会。それぞれが互いに手を取り合い、力を合わせて子供たちを慈しみ育てていく。子どもたちを取り巻く環境を、子どもたちのためによりよい環境にしていくことが、いつの時代でも求められます。もちろん自然も大切な環境であることはいまでもありません。

天稟（てんぴん/てんりん）

生まれながらに持っている性質・才能。

土に根を張り大きく育ち、やがて開花し実を結ぶ。植物が育つ上で大切な日光、水、肥料。但し、これらもたくさん与えればよいわけではありません。加減が大切です。植物一つ一つ、またその植物の育つ過程によっても、よりよく育つ環境が違ってきます。子どもたちの「てんりん」も、適切な環境のもとで大きく育っていきます。

子どもたちを最善の環境のもとで、教育すること。そのためには、環境づくりが大切です。学校や保護者・地域の方々、そして子どもたちに関わるすべての人が、子どもたちにとっての最大の教育環境です。人は想像以上に環境の影響を受けやすいことを考えると、私たちの役割はとても大切なものになります。役割を再認識し、皆で連携・協働しながら温かい心で子どもたちを育てていきたいと思えます。これからもご理解とご支援のほど、よろしくお願い致します。

